

「うちどく」通信～2018.7～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕

1年 はるき 『地獄めぐり』沼野正子 Eヌ 聞いた人：おばあさん

はるき：いろいろなこわいおにたちが、とってもこわかったです。

おばあさん：いつもは恐がりの春ちゃんが、怖くてむずかしい本を借りてきたのでおどろきましたが、じごくに行くのはいやだなあとだったので、良い子にしてたら大丈夫よと言ったら安心したみたいでした。

1年 りゅうせい 『それいけ！おもちゃだいさくせん』土屋富士夫 Eツ 読んだ人：お母さん

りゅうせい：おもちゃがかわいかったです。パズルがみつかってよかったです。

お母さん：なつかしいおもちゃたちが役割をはたしてしょうちゃんとパズルを探し出すところがいいチームワークだと思いました。おもちゃ達も、しょうちゃんと遊べてとてもうれしかったことでしょう。

2年 あいな 『はのはのはなし』中西翠 Eナ 聞いた人：お母さん

あいな：あの歯は、かみさまからもらったとくべつな歯だと思いました。だから、あんなおいしそうな実ができたと思います。

お母さん：子どもの歯はいつか抜けてしまうものだけど、抜ける前、グラグラしていると痛そうで、子どもにとってゆううつな事だけど、この本ではそのことが楽しいことのように、夢があつていいなと思いました。

2年 るな 『イルカ ちがいがわかる写真絵本シリーズ』増井光子 48チ 聞いた人：お母さん

るな：イルカたちが「ピーピー」と言っていて、イルカたちも話をするんだなと思いました。

お母さん：イルカの仕組みについての話で、イルカは年齢によって体にもようが入ったり、もようの量が増えたりするんだなと思いました。るなと一緒にイルカの勉強ができました。

3年 ゆうか 『あいさつ団長』よしながこうたく Eヨ 聞いた人：お母さん

ゆうか：サムソンのあいさつがじょうずでした。あいさつだんのあいさつは、どのくらいうるさいのかなと思いました。

お母さん：標準語ではなく、方言バージョンに思わず見入ってしまいました。毎日言っている「おはよう」「こんにちは」が、やらされ感に満ちているので、心から言ってくれたらうれしいなと思います。

3年 りおな 『あなたのいえわたしのいえ』加古里子 52カ 聞いた人：お母さん

りおな：人には家がひつようなんだなと思いました。やねやかべだけではすみやしくないとわかりました。それで、おふろ、トイレ、まど、いろいろなへやがひつようなんだなと思いました。大人になったら、おふろやトイレ、まどなどがついた家を作りたいなと思いました。

お母さん：「あなたのいえわたしのいえ」を聞いて、この本は家ができてからの話で、家になるまでにいろいろな流れがあることがわかりました。この本を選んだのは、家がどんなものかきょうみをもったのでしょね。

4年 いつき 『ひとしずくの水』ウォルター・ウィック 43ウ 聞いた人：お母さん

いつき：水の分子は、それ自体が300兆個もあるなんてびっくりしました。

お母さん：内容が少しむずかしかったのですが、私の説明を入れて、最後まできちんと読めました。

4年 かの 『ちいさいいすのはなし』竹下文子 Eタ 聞いた人：お母さん

かの：わたしは、男の子といすがどどんなかよくなるのがいいなと思いました。このいすは、子ども用のいすで、いろいろな子どもとなかよくなっているのうらやましいと思いました。わたしも、いろいろな人と友達になりたいです。

お母さん：使わなくなったため、処分されたいすが、大きくなった男の子のいえにもどってほっこりしました。夏休みも、たくさん本を読んでほしいです。



【7/9 提出分】

提出数/人数 (欠席)

提出数/人数 (欠席)

1年 17/17 ☆GOOD☆

4年 21/21 (2) ☆GOOD☆

2年 22/23

5年 22/25

3年 17/19

6年 19/20

全校 118/125 (2)



5年 ひなと 『もりへぞろぞろ』村田喜代子 Eム 聞いた人：お母さん

ひなと：ぼくも、森はこわいけどやっぱりみんなで行けばこわくないと思いました。

お母さん：暗くて怖い森のおく、病気になったイノシシのお友達のためにみんなで行って行くお話でした。友達のために怖くてもみんながまんして入っていくすてきなお話でした。

5年 みゆ 『ほしのぎんか』グリム Eク 聞いた人：お母さん

みゆ：女の子は、おさないころお父さんとお母さんを亡くしてかわいそうでした。女の子は人に会うたびに自分の洋服をあげていたので勇気があるなと思いました。女の子は、ついに着ている服を全部あげてしまったけど、最後にはそのやさしさがめぐまれて、あつたかい服を着られて幸せになれてよかったなと思いました。わたしも勇気ある人になりたいと思いました。

お母さん：とてもやさしい女の子のお話でした。着るものも食べるものも失ったけど、星がぎんかになり幸せになったのでとてもよかったなと思いました。

6年 まさき 『平和ってすてきだね』安里有生 Eア 聞いた人：お母さん

まさき：平和は、ご飯をいっぱい食べたり、のんびりねたりできるけど、戦争は、ご飯も食べられないし、ねることもできないほど恐ろしいものだから、ぼくは平和っていいなと思いました。

お母さん：今、当たり前のようにできている生活を守っていかなければと改めて思いました。平和ってすてきですね。

6年 ちとせ 『九九をとる王子さま』はまのゆか Eハ 聞いた人：お母さん

ちとせ：この本は、数字の国の王子さまが国から九九を消してしまい、九九ひろばでいろいろな声が聞こえて、それを元に戻すために王子さまが九九をとるために出てきました。この本は、最後まであきらめずにがんばることを教えてくれる本です。

お母さん：小学2年生で習う九九は、生活の中でたくさん活用しています。でも、覚えるときは大変だったなあと思い出しました。